



垂水区医療介護サポートセンター ごしきまろくんの サポートセンター便り 第12号

発行：垂水区医療介護サポートセンター
住所：〒655-0038
神戸市垂水区星陵台4丁目4-37
垂水区医師会内
TEL：078-785-1166
FAX：078-785-1167

垂水区民の健康を守る～垂水区医師会新会長挨拶～

4月から医療介護サポートセンター長をさせていただきます。

以前から垂水区内の医療・介護・福祉の現場では、医師会のみならず行政や関連他職種との職域の垣根を越えた連携・協力体制を積極的に行ってききましたが令和6年1月に新しい垂水区医師会館が完成し垂水区歯科医師会、垂水区薬剤師会、医療介護サポートセンター、西部しあわせ訪問介護ステーションが一つの会館内に入ることができました。5つの事務所が一堂に会する会館となり名実ともにより一層の連携協力体制が整ったと思います。今年度のサポートセンターの事業としては運営会議を中心にして地域ケア推進検討委員会、市民フォーラム検討小委員会、病院地域連携室会議、緊急時医療介護連携小委員会、見取り検討委員会、勉強会検討小委員会、制度のはざま検討小委員会を行う予定です。



久保清景
(垂水区医師会会長)

また参加予定の会議として垂水区地域ケア会議、地域ケア会議、兵庫県訪問看護ステーション垂水連絡協議会、神戸市ケアマネージャー連絡会垂水ブロック世話人会等に参加し、多職種とのさらなる密な連携を行っていきます。市民向けの啓発として10月14日にコロナ禍でしばらく途絶えていた市民向けの劇を今回のテーマは「災害」として準備しております。新垂水区医師会館も耐震化省エネ化はもとより太陽光発電による自家発電装置を備え非常時のレジリエンス強化も図られBCPについても整備するようにしています。



垂水区医師会館

このようにソフト・ハード両面からも垂水区民の皆様の安全・安心を確保し、健康で幸せな生活を送っていただくため医師会員一丸となって進めていきたいと思っています。今後ともご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

垂水区医師会会長 久保清景

身近な存在の薬剤師 & 多職種連携 ～垂水区薬剤師会新会長挨拶～

皆様、はじめまして今期から垂水区薬剤師会会長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。また皆様方には平素から大変お世話になり御礼申し上げます。

垂水区薬剤師会は昭和22年に発足いたしました。垂水区誕生と同時期です。（ご存じのように昭和21年11月に須磨区から垂水区が新設されました）現在、会員薬局は86薬局、会員数は223名と神戸市9区で会員数は最多です。さて当会

は前会長の頃より多職種連携に関して大変重視してきており、毎年行政を含めた地域ケア推進会議、垂水区防災訓練、健康福祉フェア、コロナ禍で中断しておりましたが市民啓発活動に関する劇への参加しております（もちろん小職も黒子等として劇中に参加した経験もあります）。また病院薬剤師会との連絡会議、施設に向いての介護予防講座、学校薬剤師の薬物乱用に対する啓発活動など積極的に活動しております。特にこれらの連携の親睦会には先陣を切って積極的に参加してきました（笑）。この流れを今後も継承すべく考えております。

垂水区薬剤師会は歴史のみならず経営の面でも神戸市9区の中で唯一、会営の薬局を運営しており会員薬局、会員薬剤師のサポートに役立てております。その会営薬局内に構えておりました事務局ですが、この度垂水区医師会館新築を機に垂水区歯科医師会様と同じく新館内に移転いたしました。大規模災害時における初動時の連携や薬剤の備蓄、平時は理事会や研修会等の開催に利用させて頂く予定にしております。これを機会に医療介護関係に従事する皆様方と更なる強固な連携がとれることを期待しております。

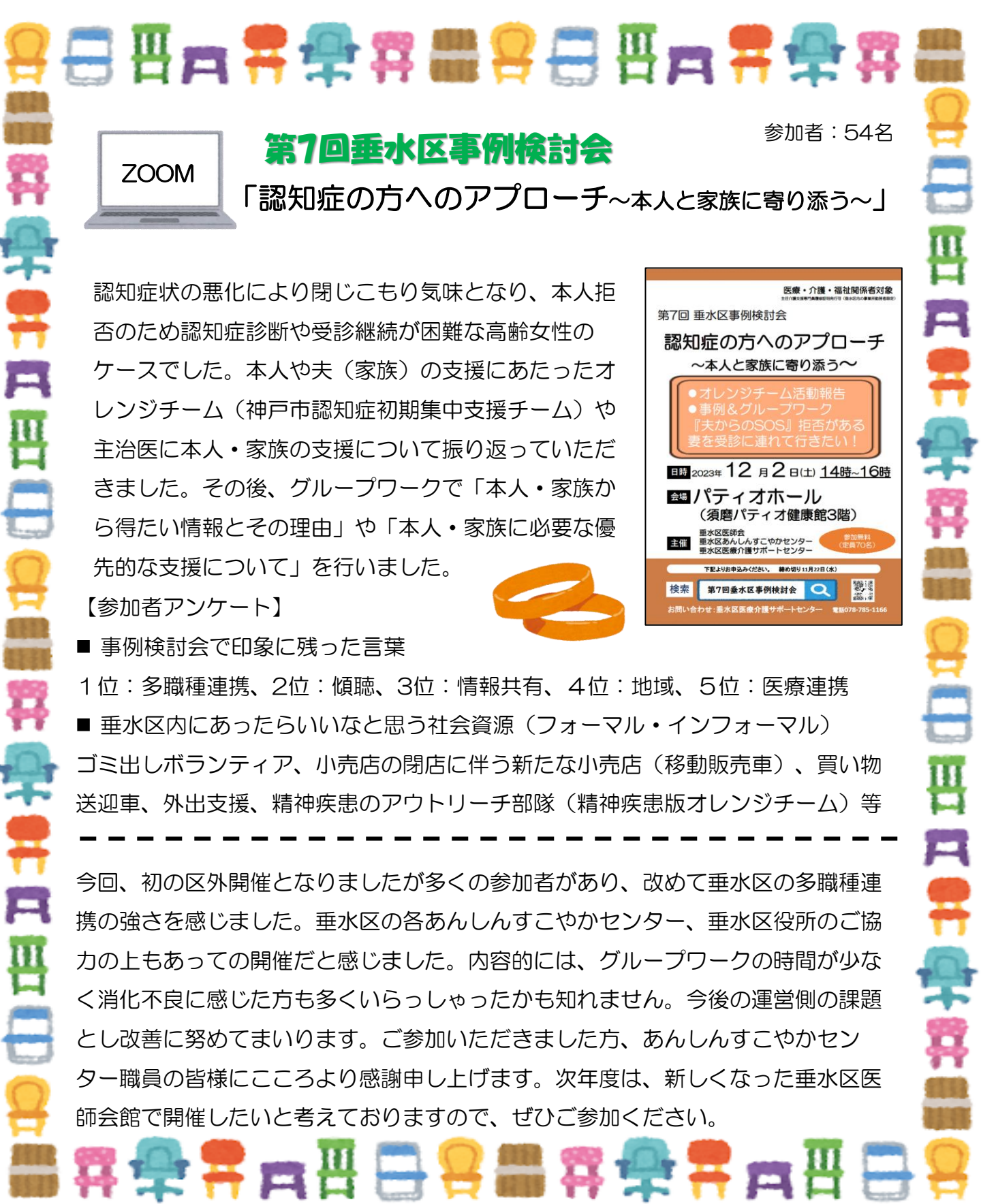
今後はさらなる高齢者社会に推移し、認知症の方やフレイル状態になる方の増加が危惧されています。在宅や薬局で薬剤師が地域住民の方の役に立てるように薬剤師会としてサポートしていきます。

どうぞ身近な薬剤師にお気軽にお声掛けいただきたいと思います。



厚東 哲治
(垂水区薬剤師会会長)

一般社団法人 垂水区薬剤師会会長 厚東哲治



第7回垂水区事例検討会

参加者：54名

「認知症の方へのアプローチ～本人と家族に寄り添う～」

認知症状の悪化により閉じこもり気味となり、本人拒否のため認知症診断や受診継続が困難な高齢女性のケースでした。本人や夫（家族）の支援にあたったオレンジチーム（神戸市認知症初期集中支援チーム）や主治医に本人・家族の支援について振り返っていただきました。その後、グループワークで「本人・家族から得たい情報とその理由」や「本人・家族に必要な優先的な支援について」を行いました。

【参加者アンケート】

■ 事例検討会で印象に残った言葉

1位：多職種連携、2位：傾聴、3位：情報共有、4位：地域、5位：医療連携

■ 垂水区内にあったらいいなと思う社会資源（フォーマル・インフォーマル）

ゴミ出しボランティア、小売店の閉店に伴う新たな小売店（移動販売車）、買い物送迎車、外出支援、精神疾患のアウトリーチ部隊（精神疾患版オレンジチーム）等

今回、初の区外開催となりましたが多くの参加者があり、改めて垂水区が多職種連携の強さを感じました。垂水区各あんしんすこやかセンター、垂水区役所のご協力の上もあっての開催だと感じました。内容的には、グループワークの時間が少なく消化不良に感じた方も多くいらっしゃったかも知れません。今後の運営側の課題とし改善に努めてまいります。ご参加いただきました方、あんしんすこやかセンター職員の皆様へこころより感謝申し上げます。次年度は、新しくなった垂水区医師会館で開催したいと考えておりますので、ぜひご参加ください。

医療・介護・福祉関係者対象
第7回 垂水区事例検討会
認知症の方へのアプローチ
～本人と家族に寄り添う～

- オレンジチーム活動報告
- 事例＆グループワーク
『夫からのSOS』拒否がある妻を受診に連れて行きたい！

日時 2023年 12月2日(土) 14時～16時
会場 パティオホール
(須磨パティオ健康館3階)
主催 垂水区医師会
垂水区あんしんすこやかセンター
垂水区医療介護サポートセンター
参加費 無料
(定員70名)

下記よりお申込みください。締め切り 11月22日(水)

検索 第7回垂水区事例検討会

お問い合わせ: 垂水区医療介護サポートセンター 電話078-785-3166



【次回研修】 テーマ：緩和ケア / 2024年7月27日（土）

編集後記:

今年1月に新しい垂水区医師会館1階（同じ敷地です）への引越しなどもあり、慌ただしい日々となりました。新しい事務所内をまだまだ右往左往している状況です。垂水区医師会館近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。また、本年4月より新しいコーディネーター・驥本（きもと）が着任しています。